



文責 本宮小学校長 佐久間仁



権教室

(スマホ安全教室)

【子どもたちの感想】

◇インターネットやSNSでは、いろいろなりスクがあることが分かった。これからは、インターネットでは使いすぎに気を付けて、SNSでは個人情報流出やチャットなどでの友達との付き合い方や、これを見た人がどう感じるかなどについてよく考えて使っていきたい。あと、これを発信したらどうなるかについて見積もりを立てることががんばりたい。



上手に使おう



読

書アンケート



読書に関する調査アンケート(本宮小)

*回答率五十六・四% (は前年度との比較)

①家庭での読書や読み聞かせの平均時間(一日あたり)

日あたり

- ・ほとんどない四十九・〇% (中二・九p)
- ・三十分以内 三六・一% (中三・六p)
- ・一時間 一二・四% (中四・五p)
- ・二時間以上 一・二% (中五・五p)
- ・無回答 一・二% (中〇・六p)

②家庭での児童の電子端末の平均時間(一日あたり)

日あたり

- ・なし 七・五% (中五・〇p)
- ・一時間未満 二七・八% (中五・三p)
- ・一〜二時間 三九・八% (中三・五p)
- ・二時間以上 二二・二% (中四・〇p)
- ・無回答 一・七% (中〇・二p)

〔スマートフォン〕

- ・なし 四九・四% (中四・四p)
- ・一時間未満 二一・六% (中〇・六p)
- ・一〜二時間 一七・八% (中一・九p)
- ・二時間以上 七・五% (中二・〇p)
- ・無回答 三・七% (中一・九p)

〔PC・タブレット〕

- ・なし 四二・三% (中一・一p)
- ・一時間未満 一九・一% (中〇・一p)
- ・一〜二時間 一八・三% (中〇・五p)
- ・二時間以上 一三・三% (中一・四p)
- ・無回答 七・一% (中〇・三p)

③読書が好きかどうか

〔子ども〕

- ・好き 五十一・五% (中二・一p)
- ・嫌い 一三・七% (中三・四p)
- ・どちらでもない三三・六% (中六・四p)
- ・無回答 一・二% (中〇・九p)

〔保護者〕

- ・好き 五〇・六% (中一・六p)
- ・嫌い 六・六% (中〇・二p)
- ・どちらでもない四二・七% (中一・三p)

④読書するようになってほしいか

- ・なってほしい 九六・三% (中〇・五p)
- ・必要ない 三・七% (中〇・五p)
- ・どちらでもない三三・六% (中六・四p)

⑤読書する子になってほしい理由

- ・成績がよくなるから 一二・〇% (中一・三p)
- ・創造力や思考力が付くから 八五・五% (中〇・三p)
- ・知らない世界を体験できるから四七・七% (中二・三p)
- ・生きる力が身に付くから 二〇・三% (中五・〇p)
- ・その他(語彙力、読解力など) 七・五% (中二・九p)
- ・無回答四・一% (中四・一p)

⑥子どもが読書習慣を身に付けるために必要

なこと

- ・子どもが小さいころから読み聞かせを行う 六四・三%
- ・家庭において親子で本に触れる機会がある 七三・九%
- ・学校で読書の時間を確保する 五〇・六%



- ・学校図書館を利用する 四二・三%
- ・公共図書館や書店を利用する三五・三%
- ・その他(興味ある本を見つける、公共の場に読める本がある、本のメリット、オススメの本の紹介など) 二・一%

今回の調査から、家庭での読書時間が減少する一方で、電子端末の長時間利用が増加していることが分かりました。読書が好きな児童はわずかながら増えていますが、保護者のほとんどが子どもに読書をしてほしいと思っています。そのためできるだけこととして、小さい頃からの読み聞かせや親子で本に触れる機会をもつことを挙げています。学校では、朝の時間に読書タイムを位置付けたり、ボランティアさんによる読み聞かせを行ったりしています。ご家庭でも家族団らんの時間に、読書や読み聞かせの時間をつくってみるなど、我が家ならではの取組をしてみたいかがでしょうか。

【お知らせ】

○資源回収益金 二千九百二十五円
(内訳)・雑誌 六百九十kg

- ・新聞紙 三百九十kg
- ・段ボール 八百kg
- ・アルミ缶 十八kg



今回の収益金は、学校の設備備品などの購入に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。